

## 中世山城

## 磯山城跡

**磯山城**は、彦根市松原を本拠として浅井氏に従った松原氏の居城だったようです。その後、浅井亮政によって磯山城の普請(築城)が大永年間(1521)頃におこなわれています。天文7年(1538)には、佐和山城(彦根市)を落した南近江の六角定頼が、北近江進攻に際して磯山を陣所としました。さらに浅井家家臣の磯野員昌が、永禄4年(1561)佐和山城へ入城する以前は、この磯山城にいたことが記録にみえます。このように、北近江と南近江の国境に位置する磯山城や佐和山城は、浅井氏と六角氏の争奪の舞台になっています。元亀2年(1571)、織田信長による佐和山城攻めでは、織田方の陣城として用いられています。

かつて磯山は、南北を松原内湖と入江内湖にはさまれて琵琶湖に突出した半島状の山でした。この地は、湖上交通と浜街道を押さえる要衝の地にあたり、磯山城はその頂上に構えられました。磯山の北側のピークは小字「トラカシロ(虎ヶ城)」とよばれ、磯崎神社の奥宮がまつられた曲輪状の削平地です。さらに南端のピークにも数段の削平地がみられ、この間の尾根上にも階段状の削平地があります。しかし、曲輪間を遮断する堀切や、土壘などの構築物はまったくみられません。

※曲輪／お城のなかの建物などが建てられていた平坦面



磯山城跡遠望（水田はかつての内湖）

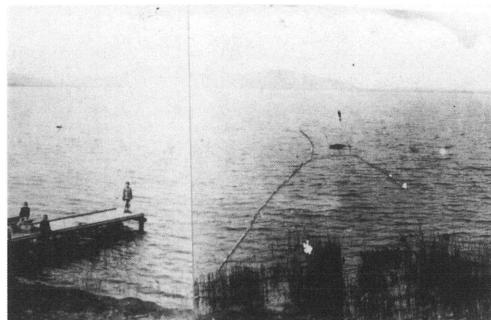
北城と南城というふたつの城郭からなる形態は、菖蒲嶺城跡や太尾山城跡と同様で、軍学にいう「別城一郭」です。北近江と南近江の国境に築かれた諸城にこの別城一郭タイプの構造をもつ山城が集中し注目されます。



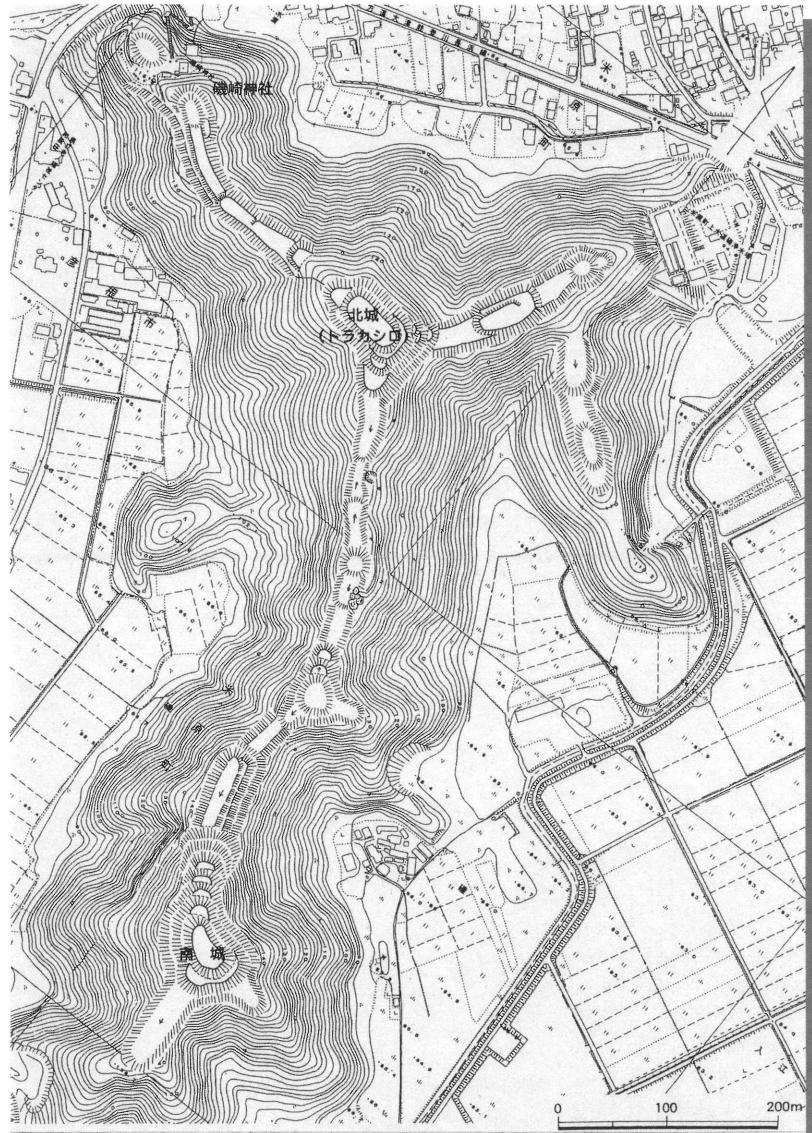
北城



北近江を望む（右奥が伊吹山）



入江内湖古写真（対岸が磯山）



磯山城跡平面図



### 磯山城跡

■ 所在地 滋賀県米原市磯

■ アクセス JR東海道線米原駅下車。徒歩約50分。米原市役所米原庁舎にレンタサイクル有り。磯崎神社から徒歩約20分。

### 米原市教育委員会

滋賀県米原市長岡1206番地 TEL.0749-55-8106

平成21年度 埋蔵文化財活用事業